

結果の概要

(* 順位は数値の大きいものからの順。)

1 出生

本県の出生数は11,723人で、前年の12,434人より711人減少した。出生率(人口千対)は、8.0で、前年の8.5を0.5ポイント下回った。

また、全国と比べると0.9ポイント下回り、全国順位は44位(前年36位)であった。

全国の出生数は1,123,610人で、前年の1,153,855人より30,245人減少した。出生率は8.9で、前年の9.2を0.3ポイント下回った。

本県の合計特殊出生率は1.35で、前年の1.44を0.09ポイント下回った。また、全国と比べると0.06ポイント上回り、全国順位は27位(前年17位)であった。

全国の合計特殊出生率は1.29で、前年の1.32を0.03ポイント下回った。

2 死亡

本県の死亡数は13,995人で、前年の13,446人より549人増加した。死亡率(人口千対)は9.6で、前年の9.2を0.4ポイント上回った。

また、全国と比べると1.6ポイント上回り、全国順位は12位(前年15位)であった。

全国の死亡数は1,014,951人で、前年の982,379人より32,572人増加した。死亡率は8.0で前年の7.8を0.2ポイント上回った。

3 乳児死亡

本県の乳児死亡数は45人で、前年の46人より1人減少した。乳児死亡率(出生千対)は3.8で、前年の3.7を0.1ポイント上回った。また、全国と比べると0.8ポイント上回り、全国順位は2位(前年5位)であった。

全国の乳児死亡数は3,364人で、前年の3,497人より133人減少した。乳児死亡率は、3.0で前年と同率であった。

4 新生児死亡

本県の新生児死亡数は30人で、前年の31人より1人減少した。新生児死亡率(出生千対)は2.6で、前年の2.5を0.1ポイント上回った。

また、全国と比べると、0.9ポイント上回っており、全国順位は1位(前年3位)であった。

全国の新生児死亡数は1,879人で、前年の1,937人より58人減少した。新生児死亡率は1.7で、前年と同率であった。

5 自然増加

本県の自然増加数は 2,272人で、昨年の 1,012人より1,260人減少し、5年連続マイナスとなった。自然増加率(人口千対)は 1.6で、前年の 0.7を0.9ポイント下回った。

また、全国と比べると、2.5ポイント下回り、全国順位は39位(前年35位)であった。

全国の自然増加数は108,659人で、昨年の171,476人より62,817人減少した。自然増加率は0.9で、前年の1.4を0.5ポイント下回った。

6 死産

本県の死産数は415胎(自然死産163胎、人工死産252胎)で、昨年の426胎(同171胎、同255胎)より11胎(同8胎、同3胎)減少した。死産率(出産(出生+死産)千対)は34.2で、前年の33.1を1.1ポイント上回った。

また、全国と比べると、3.7ポイント上回り、全国順位は13位(前年16位)であった。

全国の死産数は35,330胎で、前年の36,978胎より、1,648胎減少した。死産率は、30.5で、前年の31.1を0.6ポイント下回った。

7 周産期死亡

本県の周産期死亡数は73件(妊娠満22週以後の死産50胎、早期新生児死亡23人)で、前年の76件(同52胎、同24人)より3件(同2胎、同1人)減少した。周産期死亡率(出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対)は6.2で、前年の6.1を0.1ポイント上回った。

また、全国と比べると、0.9ポイント上回り、全国順位は4位(前年10位)であった。

全国の周産期死亡数は5,929件で、前年の6,333件より404件減少した。周産期死亡率は5.3で、前年の5.5を0.2ポイント下回った。

8 婚姻

本県の婚姻件数は7,130組で、前年の7,730組より600組減少した。婚姻率(人口千対)は4.9で、前年の5.3を0.4ポイント下回った。

また、全国と比べると、1.0ポイント下回り、全国順位は42位(前年33位)であった。

全国の婚姻件数は740,191組で、前年の757,331組より17,140組減少した。婚姻率は5.9で、前年の6.0を0.1ポイント下回った。

9 離婚

本県の離婚件数は3,645組で、前年の3,631組より14組増加した。離婚率(人口千対)は2.50で、前年の2.48を0.02ポイント上回った。

また、全国と比べると、0.25ポイント上回り、全国順位は6位(前年7位)であった。

全国の離婚件数は283,854組で、前年の289,836組より5,982組減少した。離婚率は2.25で、前年の2.30を0.05ポイント下回った。

表1 人口動態総覧

	青森県						全国
	実数			対前年比	率		実数
	平成15年	平成14年	差引増減		平成15年	平成14年	平成15年
	(A)	(B)	(A)-(B)	(前年=100)	(A)	(B)	
出生	11,723	12,434	711	94.3	8.0	8.5	1,123,610

死亡		13,995	13,446	549	104.1	9.6	9.2	1,014,951
	乳児死亡数	45	46	1	97.8	3.8	3.7	3,364
	新生児死亡数	30	31	1	96.8	2.6	2.5	1,879
自然増加数		2,272	1,012	1,260	224.5	1.6	0.7	108,659
死産		415	426	11	97.4	34.2	33.1	35,330
	自然死産	163	171	8	95.3	13.4	13.3	14,640
	人工死産	252	255	3	98.8	20.8	19.8	20,686
周産期死亡		73	76	3	96.1	6.2	6.1	5,929
	妊娠満22週以降の死産	50	52	2	96.2	4.2	4.2	4,626
	早期新生児死亡	23	24	1	95.8	2.0	1.9	1,303
婚姻		7,130	7,730	600	92.2	4.9	5.3	740,191
離婚		3,645	3,631	14	100.4	2.50	2.48	283,854

表2 合計特殊出生率

	平成15年	平成14年
合計特殊出生率(青森県)	1.35	1.44

表3 三大死因

	死因分類名	死亡数(人)	死亡率 (人口10万対)	全国順位	全死因に 対する割合(%)
1位	悪性新生物	4,129	283.2	10	29.5
2位	心疾患	2,168	148.7	16	15.5
3位	脳血管疾患	2,019	138.5	11	14.4